

デジタルファブリケーター（3Dプリンタ、レーザーカッター等）の普及により、「モノ」とその三次元データが、リアル空間とサイバー（デジタル）空間の双方に存在するファブ社会が到来しつつある。



情報社会の到来が情報と国民の関係を変えたように、ファブ社会の到来は情報とモノと国民の関係を変え、国民生活における利便性や創造性が一層高まると期待される。

『ファブ社会』の展望に関する検討会

フィジカル空間の出現

- サイバー空間とリアル空間が融合し、デジタルとフィジカルの間新しい空間として「フィジカル空間」が出現
- 「フィジカル空間」では「もの」と「情報」が相互に行き来可能になり、ものと情報は一体不可分
- 情報、通信、製造の全てデジタルで繋がった「ICF社会」が実現

デジタルファブリケーション機器の普及がもたらす方向性

- ◆ 産業におけるデジタルファブリケーション
 - ・「企業におけるものづくりプロセス」の革新
- ◆ パーソナルファブリケーション
 - ・デザイナー、個人等「多様な人が自ら行うものづくり」が発展
- ◆ ソーシャルファブリケーション
 - ・「ソーシャルネットワーク型ものづくり」が拡大

健全なファブ社会発展に向けた課題

【課題1：ファブ社会に必要な仕組みの構築】

- 品質管理（製造物責任）
- 知的財産管理
- ファブ情報基盤の構築
- 危険物製造等に関する規則

【課題2：ファブ社会を担う人材の育成】

- 「新領域デザイン」を核にした人材の育成

【課題3：先進的なファブ情報の発信と保存】

- 「フィジカル・コンテンツ」の世界発信
- 情報のアーカイブ化による保存
- 先進的なソーシャルファブリケーション活動の事例紹介等、展開支援

⇒ 課題の解決に向けた検討を実施：「ファブ社会の基盤設計に関する検討会」

検討体制

H26年度

H27年度

デジタルファブリケーションの
普及ための検討会

情報基盤WG

社会システムWG

ファブ社会の基盤設計に
関する検討会

実証実験

○ デジタルファブリケーションの普及のための検討会

田中 浩也（慶應義塾大学 環境情報学部 准教授）：座長
岩寄 博論（株式会社博報堂 コンサルティング局
ストラテジックプランニングディレクター）

小林 茂（情報科学芸術大学院大学 産業文化研究センター 教授）
水野 大二郎（慶應義塾大学 環境情報学部 専任講師）
水野 祐（シティライツ法律事務所 代表（弁護士））

○ 情報基盤WG

田中 浩也（慶應義塾大学 環境情報学部 准教授）：座長
伊藤 純（ローランドディー・ジー・株式会社 フェロー）
風間 博之（株式会社NTTデータ 技術開発本部
サービスイノベーションセンタ センタ長）
小箱 雅彦（株式会社PFU フェロー）
小林 茂（情報科学芸術大学院大学 産業文化研究センター 教授）

齋藤 和行（シーメット株式会社 開発部 ソフト開発グループ）
瀧田 佐登子（一般社団法人 Mozilla Japan 代表理事）
田邊 集（凸版印刷株式会社 事業開発・研究本部 事業開発センター
第一企画部 主任）
林田 大造（JSR株式会社 インキュベーション・プロジェクト
プロジェクトリーダー）
古川 英光（山形大学 大学院理工学研究科 教授）

○ 社会システムWG

水野 祐（シティライツ法律事務所 代表（弁護士））：座長
平野 晋（中央大学 総合政策学部 教授）
渡辺 智暁（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
（GLOCOM） 主幹研究員、准教授、研究部長）

【オブザーバ】

小林 茂（情報科学芸術大学院大学 産業文化研究センター 教授）
新保 史夫（慶應義塾大学 総合政策学部 教授）
田中 浩也（慶應義塾大学 環境情報学部 准教授）
林田 大造（JSR株式会社 インキュベーション・プロジェクト
プロジェクトリーダー）

スケジュール

	平成26年			平成27年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ファブ社会の基盤設計に関する検討会				▲ 第1回 (1/19)	▲ 第2回 (2月上旬)	▲ 第3回 (2月下旬)	▲ 第4回 (3月中旬)
デジタル ファブリケーション の普及ための検討会	▲ 第1回 (10/28)		▲ 第2回 (12/4)	▲ 第3回 (1/15)		▲ 第4回 (2月下旬)	▲ 第5回 (3月中旬)
情報基盤WG			▲ 第1回 (12/11)	▲ 第2回 (12/18)	▲ 第3回 (1月下旬)		
社会システムWG				▲ 第1回、第2回 (12/25)	▲ 第3回 (1月下旬)		